2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月4日

上場会社名　ダイトウボウ株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　3202　URL https://www.daitobo.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長執行役員CEO　(氏名) 山内　一裕
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員経営管理本部経理部長　(氏名) 松田　好司　TEL 03-6262-6565

半期報告書提出予定日　2026年11月4日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	1,920	0.1	132	△0.4	105	190.1	69	117.7
2026年3月期中間期	1,919	△4.0	132	△22.9	36	△50.7	31	△17.1

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　178百万円　(164.4%)　2026年3月期中間期　67百万円　(△8.5%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	2.32	2.31
2026年3月期中間期	1.06	1.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	20,160	5,072	25.1
2026年3月期	20,075	5,003	24.9

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　5,067百万円　2026年3月期　4,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	0.00	―	3.00	3.00
2027年3月期	―	0.00			
2027年3月期(予想)			―	4.50	4.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

配当予想の修正については、本日(2026年11月4日)公表いたしました「配当予想の修正および株主優待制度の見直しに関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	17.1	400	28.8	190	63.8	120	32.1	4.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	30,360,000 株	2026年3月期	30,360,000 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	537,569 株	2026年3月期	387,839 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	29,870,161 株	2026年3月期中間期	29,955,023 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、中東情勢の緊迫化や米国の通商政策の影響などから先行き不透明な状況が続いたものの、各種政策効果や雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。ただし、物価上昇の長期化による消費者マインドへの影響などから、個人消費には一部弱さがみられる展開となりました。

このような中で、当社グループは中期経営計画「Jumping over the 130th ～成長の未来へ～」の最終年度を迎え、諸施策に鋭意取り組みました。

商業施設事業におきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、新規テナント開業効果や夏休みにおける販促イベント効果もあり、集客は堅調に推移しました。ヘルスケア事業におきましては、販売価格上昇に伴う買い控えもあり売上高が前年同期をわずかに下回りました。せんい事業におきましては、サステナブル商材、防災・猛暑対策商材など幅広いニーズ発掘に取り組みました。また、2026年９月29日に開示しました通り、当社の出資先企業から臨時決算に基づく剰余金の配当金80百万円を受け取り、営業外収益に計上しました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は19億２千万円（前年同期比0.1%増）、設備更新に伴う一過性の撤去費用等が発生したものの、営業利益は１億32百万円（前年同期比0.4%減）、経常利益は１億５百万円（前年同期比190.1%増）となりました。これに、法人税等調整額を加味した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は69百万円（前年同期比117.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

（商業施設事業）

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、前年同期における邦画のヒット作の反動減があったものの、新規テナント開業効果や夏休みにおける販促イベントなどの効果もあり、売上高は前年同期を上回りました。損益面では空調機入替えに伴う一過性の撤去費用や設備更新投資に伴う減価償却費の増加があったものの、営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、商業施設事業の売上高は11億51百万円（前年同期比2.9%増）となり、損益面では、撤去費用や減価償却費の増加があったものの、営業利益は４億57百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

（ヘルスケア事業）

健康ビジネス部門につきましては、当社独自技術のバイオ麻商品や素材関連の販売が伸びて、売上高は前年同期を上回りました。一般寝装品部門につきましては、毛布商材の販売が低調に推移し、売上高は前年同期を下回りました。損益面では、原価上昇の影響を受け売上総利益率が低下し、営業損失は前年同期に比べ拡大しました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は４億61百万円（前年同期比1.1%減）で、営業損失は28百万円（前年同期は営業損失16百万円）となりました。

（せんい事業）

テキスタイル部門につきましては、官需ユニフォームが前年同期と比べ苦戦したため、売上高は前年同期を下回りました。プロダクツ部門につきましては、売上高は前年同期並みとなりました。損益面では、テキスタイル部門、プロダクツ部門ともに採算性が向上した結果、営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、せんい事業の売上高は３億７百万円（前年同期比7.8%減）で、営業利益は10百万円（前年同期比25.2%増）と中間期は４期連続で黒字となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産、負債、純資産の状況）

当中間連結会計期間末における総資産の残高は201億60百万円で、前期末比85百万円増加しました。その主な要因は、流動資産において、現金及び預金が３億92百万円減少したこと、決算月の売上増により受取手形及び売掛金62百万円増加したこと、受注増により棚卸資産が81百万円増加したこと、固定資産において、設備投資４億20百万円や減価償却費２億60百万円などにより有形固定資産が１億59百万円増加したこと及び保有株式の株価上昇により投資有価証券が1億83百万円増加したことであります。

負債の残高は150億87百万円で、前期末比15百万円増加しました。その主な要因は、決算月の仕入増により支払手形及び買掛金が１億80百万円増加したこと、株主優待引当金53百万円を取崩したこと、出店者からの預り金減等によりその他が57百万円減少したこと、借換え時の借入額と約定弁済により借入金が57百万円減少したことであります。

純資産の残高は50億72百万円で、前期末に比べ69百万円増加しました。その主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益計上、市場買い付けによる自己株式の増加及び配当金支払により株主資本が40百万円減少したこと、保有株式の株価上昇によりその他有価証券評価差額金が１億13百万円増加したことであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、１億37百万円のプラス（前年同期比48.9％減）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益１億5百万円、減価償却費２億68百万円、株主優待引当金の減少53百万円、売上債権の増加73百万円、棚卸資産の増加81百万円、仕入債務の増加１億80百万円、未払金及び出店者からの預り金の減少等によりその他の減少１億28百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、３億43百万円のマイナス（前年同期は１億円のマイナス）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、１億86百万円のマイナス（前年同期は13百万円のマイナス）となりました。これは主に、長期借入れによる収入40億52百万円、長期借入金の返済による支出41億10百万円、リース債務の返済による支出19百万円、自己株式の増加20百万円、配当金の支払額88百万円によるものであります。

これらの各活動の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は８億円（前年同期比27.5％減）となり、前期末に比べ３億92百万円減少しました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年５月８日発表の予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,203,366	810,639
受取手形及び売掛金	527,044	589,690
棚卸資産	664,582	745,742
その他	67,873	58,060
貸倒引当金	△1,050	△1,400
流動資産合計	2,461,816	2,202,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,050,240	7,222,996
土地	9,267,467	9,267,467
その他（純額）	519,807	506,902
有形固定資産合計	16,837,515	16,997,366
無形固定資産		
のれん	99,256	92,052
その他	3,842	16,257
無形固定資産合計	103,099	108,309
投資その他の資産		
投資有価証券	594,416	778,162
繰延税金資産	2,127	2,199
その他	76,364	71,645
投資その他の資産合計	672,907	852,006
固定資産合計	17,613,522	17,957,683
資産合計	20,075,339	20,160,417

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	224,188	404,654
短期借入金	641,320	654,440
未払法人税等	28,810	27,821
賞与引当金	38,621	38,972
株主優待引当金	53,300	－
その他	735,006	677,657
流動負債合計	1,721,245	1,803,547
固定負債		
長期借入金	8,696,294	8,625,279
長期預り保証金	1,222,128	1,197,904
繰延税金負債	61,999	131,694
再評価に係る繰延税金負債	2,536,636	2,536,636
退職給付に係る負債	305,149	285,610
資産除去債務	75,367	73,797
その他	453,100	433,147
固定負債合計	13,350,677	13,284,070
負債合計	15,071,922	15,087,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	29,916	29,916
利益剰余金	133,150	112,409
自己株式	△38,704	△58,707
株主資本合計	224,363	183,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,592	278,946
繰延ヘッジ損益	4,607	－
土地再評価差額金	4,604,723	4,604,723
その他の包括利益累計額合計	4,774,923	4,883,670
新株予約権	4,129	5,510
純資産合計	5,003,416	5,072,800
負債純資産合計	20,075,339	20,160,417

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,919,867	1,920,942
売上原価	1,290,562	1,294,107
売上総利益	629,304	626,835
販売費及び一般管理費	496,693	494,714
営業利益	132,611	132,120
営業外収益		
受取利息	25	172
受取配当金	9,753	90,757
持分法による投資利益	873	374
その他	364	1,676
営業外収益合計	11,016	92,980
営業外費用		
支払利息	104,911	118,909
その他	2,401	844
営業外費用合計	107,312	119,753
経常利益	36,315	105,347
税金等調整前中間純利益	36,315	105,347
法人税、住民税及び事業税	19,227	26,108
法人税等調整額	△14,733	9,952
法人税等合計	4,493	36,061
中間純利益	31,821	69,286
親会社株主に帰属する中間純利益	31,821	69,286

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	31,821	69,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,013	113,354
繰延ヘッジ損益	△7,506	△4,607
その他の包括利益合計	35,507	108,746
中間包括利益	67,328	178,032
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	67,328	178,032
非支配株主に係る中間包括利益	―	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	36,315	105,347
減価償却費	254,763	268,680
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△170	350
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,659	351
株主優待引当金の増減額（△は減少）	△46,500	△53,300
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	19,382	△19,538
受取利息及び受取配当金	△9,779	△90,929
支払利息	104,911	118,909
持分法による投資損益（△は益）	△873	△374
売上債権の増減額（△は増加）	97,707	△73,008
棚卸資産の増減額（△は増加）	25,699	△81,160
仕入債務の増減額（△は減少）	△67,633	180,467
預り保証金の増減額（△は減少）	△32,418	△29,344
その他	△14,652	△128,231
小計	368,412	198,217
利息及び配当金の受取額	9,779	90,929
利息の支払額	△106,040	△124,583
法人税等の支払額	△3,069	△27,097
営業活動によるキャッシュ・フロー	269,081	137,466
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	－	△591
有形及び無形固定資産の取得による支出	△100,601	△337,331
その他	－	△5,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,601	△343,373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,000	4,052,505
長期借入金の返済による支出	△290,664	△4,110,400
リース債務の返済による支出	△21,123	△19,952
配当金の支払額	△89,117	△88,866
その他	△12,494	△20,106
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,398	△186,819
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	155,082	△392,726
現金及び現金同等物の期首残高	949,478	1,193,170
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,104,560	800,443

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	商業施設事業	ヘルスケア事業	せんい事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	173,576	466,926	333,231	973,734	－	973,734
その他の収益	946,132	－	－	946,132	－	946,132
外部顧客への売上高	1,119,709	466,926	333,231	1,919,867	－	1,919,867
セグメント間の内部売上高又は振替高	228	－	－	228	△228	－
計	1,119,937	466,926	333,231	1,920,095	△228	1,919,867
セグメント利益又は損失（△）	445,764	△16,972	8,015	436,806	△304,195	132,611

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△304,195千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

２．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	商業施設事業	ヘルスケア事業	せんい事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	174,689	461,988	307,192	943,869	－	943,869
その他の収益	977,072	－	－	977,072	－	977,072
外部顧客への売上高	1,151,762	461,988	307,192	1,920,942	－	1,920,942
セグメント間の内部売上高又は振替高	228	－	198	426	△426	－
計	1,151,990	461,988	307,390	1,921,369	△426	1,920,942
セグメント利益又は損失（△）	457,225	△28,335	10,031	438,921	△306,800	132,120

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△306,800千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

２．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年５月８日開催の取締役会決議に基づき、自己株式149,700株の取得を行いました。この結果、当中間連結累計期間において単元未満株式の買取も含めて自己株式が20,003千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が58,707千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。